

第4回九州作物学会講演会の開催について

第4回九州作物学会講演会の開催を下記の通り予定しております。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、参加申込フォーム・要旨提出先など関連情報の更新につきましては、決定次第、電子メール等を通じて逐次会員各位へご案内いたします。

概要は以下の通りです。

1. 日時, 場所等

(1) 日時: 令和8年 9月8日(火)～9日(水)

(2) 場所: 〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目2-1 1

アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県生涯学習センター) 4階 第2研修室

(3) スケジュール

1日目(午後) 13:00～17:00 一般講演, 総会, 受賞講演および普及フォーラム(予定)

2日目(午前) 9:30～ 一般講演

(4) 懇親会

場所 ホテルグランデはがくれ

〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目1-3 6

日時 令和8年9月8日(火) 18:00～20:00

会費 6,000円(講演会場受付時に現金徴収)

申込 令和8年8月21日(金) 締め切り

2. 参加・発表申し込み, 発表形式等

・参加・発表申込: 令和8年7月31日(金) 締め切り

・講演要旨提出: 令和8年8月7日(金) 締め切り

・発表形式: 口頭発表のみ。発表時間12分, 質疑応答3分。

・参加費: 1,000円(講演会場受付時に現金徴収)

・申込方法など詳細が決まり次第, 会員向けメールおよびホームページにて周知予定。

3. 運営事務局

佐賀大学農学部

4. お問い合わせ

佐賀大学農学部 熱帯作物改良学分野

鄭 紹輝 E-mail teis@cc.saga-u.ac.jp

TEL: 0952-28-8723

講演要旨様式（参考例）

2024年夏の高温における佐賀県ダイズ青立多発事例の要因解析

鄭 紹輝¹⁾・本村 響²⁾

1)佐賀大学農学部、2)佐賀県佐城農業振興センター

Analysis of occurrence of delayed stem senescence in soybean caused by abnormal high temperature in 2024

Shao-Hui Zheng and Hibiki Motomura

1)Faculty of Agriculture, Saga University, 2)Sajo Agricultural Promotion Center, Saga Prefecture

【目的】ダイズは一斉登熟性を持つ作物であり、通常は成熟期に落葉し植物が枯れあがるため、機械収穫に適している。しかし、環境異変や生育異常などにより成熟期になっても落葉せず青立する現象はしばしばみられ、機械による収穫作業の障害になっている。2024年夏から秋にかけて、異常高温気象が発生し、北部九州においてはダイズの青立が広く観察された。本報告は佐賀県南部川副地区の青立程度の異なる農家圃場3筆、および佐賀大学農学部実験圃場のダイズについて、青立程度と諸成長形質の関係を調査し、青立の発生原因を解析したものである。

【材料と方法】：調査対象は、佐賀県南部川副地区の大面积ダイズ栽培ブロック内にある3筆の農家圃場（7月中旬と下旬播種）、および佐賀大学本庄キャンパスの実験圃場（7月中旬と8月上旬播種）であった。調査日（2024年11月28日）における面的観察として、ダイズ青立程度は農家圃場では極少数個体（非青立圃場）から60%（青立圃場）程度、佐賀大学の調査圃場ではわずかな数個体程度であった。各圃場において、代表的なエリアを選び、それぞれ長さ1メートルにある植物を全個体刈り取りし、その日に個体ごとの青立スコアを調査し、ビニールハウス内で完全に風乾した後、莖長、節数、莢数、粒数、粒重など収量関連項目を調査した。なお、莢は、その着生位置から低次位（前期開花）と高次位（後期開花）別に分けた。サンプリングは農家圃場では2反復、佐賀大学圃場では1反復とした。

【結果と考察】調査した農家圃場では、青立スコアは0~2.5の範囲であった。青立スコアの高い区ほど、収量は必ずしも低いわけではないが、莖重や節数などの栄養成長が良好にもかかわらず、節当たり莢数、粒莖重は低く、シンク不足の様相を示していた。一方、青立がほとんど発生しなかった佐賀大学本庄キャンパスの実験圃場においては、節当たり莢数および粒莖重は農家圃場より著しく高く、シンクが十分形成されたことが伺える。百粒重が青立圃場で高かったこともシンク過剰を示唆している。ダイズの開花は長い期間にわたり、低次位花房から高次位花房へと続き、通常は低次位花房でよく結実し、高次位花房は補充的に結実するといわれているが、青立しなかった佐賀大学圃場では、高次位花房の結実数は著しく高かった。このことは、低次位花房の結実数は少なく、シンク不足を高次花房の結莢で補えた佐賀大学圃場では青立が起きず、何らかの理由で高次花房の結莢でシンク不足を補えなかった農家圃場では青立が顕著に起きたと考えられた。適期播種のダイズ莢形成期である9月の日平均気温は例年より3度以上高く、更に降水量も平年より少なかったことが農家圃場の低結莢の原因ではないかと推察された。